

授業概要

人が「感じる」「わかる」「思う」「学ぶ」とはどういうことなのでしょう？ 認知心理学は、これらの心の働きを支える仕組みを科学的に明らかにしようとする心理学の分野です。本授業では、認知心理学の幅広い領域に関して、それぞれの領域を代表する基本的な理論・モデルを紹介します。具体的には、視聴覚を中心とした感覚・知覚の基礎構造と機能や、情報処理アプローチの立場から人の認知・思考などのメカニズムおよびその障害について講義します。授業では、感覚・知覚の興味深い現象や、注意、ワーキングメモリ、長期記憶、意思決定などについて、楽しく実感できるような演習や、実験に適した環境（例えば防音/暗室など）の紹介を行いながら、心の動きを支える複雑な情報処理について理解を深めていただきます。これらを通して、自己理解及び他者、社会への理解を深めるとともに、人々の福祉のために心理学の知識と技能を活かす倫理観を身につけることを目的として講義します。なお、この科目は公認心理師カリキュラムに対応する科目です。

授業計画

第 1 回	ガイダンス：認知心理学とは
第 2 回	認知研究の歴史と研究法
第 3 回	知覚：感覚・知覚と情報処理
第 4 回	パターン認識：形～顔の認知
第 5 回	注意：選択的注意
第 6 回	イメージ：認知地図と心的回転
第 7 回	記憶（1）：記憶のメカニズム
第 8 回	記憶（2）：忘却のメカニズム
第 9 回	概念・言語：概念～失語症
第 10 回	知識・思考：意味ネットワーク～推論～ヒューマンエラー
第 11 回	感情：情動の生起と表出
第 12 回	問題解決：解決方略～創造性
第 13 回	社会的認知：対人認知～意思決定
第 14 回	認知のはたらき（1）：興味のある機能の知識を深める
第 15 回	認知のはたらき（2）：最終まとめ：個人差～障害～メタ認知
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・認知心理学における基礎的な知識を学び、認知心理学の研究方法を理解し、説明することができる。
- ・日常生活における身近な現象・問題について、認知心理学的知見を基に考察できる。

履修上の注意

- ・遅刻・欠席はしないこと。授業での演習や討論に積極的に参加すること。
- ・認知の働きについて、自ら関連文献を調べ、理解を深めようと取り組むこと。

予習・復習

- ・授業の進捗状況に合わせて配布資料などを参考に予習および復習を行うこと。
- ・授業中に質問し、意見を求めるなどして、予習復習の確認をおこなうことがある。

評価方法

授業における課題（60%）と学期末試験（40%）から総合的に評価する。

テキスト

資料を配布するためテキストは指定しない。授業内で、参考書を適宜紹介する。